

パブリックコメント手続の実施結果について、下記のとおり報告します。

計画等の案の名称	塩竈市地域防災計画（素案）	
提出された意見等の件数	10件	
	提出された意見等の概要	意見等に対する考え方
	<p>・女川原発について 現在は30キロ圏内が避難地域に指定されているかと思われませんが→50キロ圏内に拡大し避難地域に指定</p>	<p>避難地域の拡大についてですが、国際基準に基づき、原子力施設からおおむね半径30kmを避難指示等の緊急時防護措置を準備する区域（UPZ）として、原子力災害対策指針で示されているところです。</p> <p>この区域の50キロ圏内への拡大については、市単独では難しいところですが、上位計画である原子力災害対策指針では、「この目安については、主として参照する事故の規模等を踏まえ、迅速で実効的な防護措置を講ずることができるよう検討した上で、継続的に改善していく必要がある」とありますので、今後も国等の動向を踏まえ対応してまいります。</p>
	<p>・女川原発について 30キロ圏内の方が自動車による避難される場合、当市国道45号線又は三陸自動車道を利用するの避難かと思いますが、現行の国道45号線の市役所周辺及び北浜地区の交通渋滞は慢性的になっており、災害が発生した場合インフラの電気が停電等により不可の場合、避難が困難になるのではないかと思います。</p>	<p>30キロ圏内の方の避難については、「原子力災害時における石巻市広域避難計画」に基づき、石巻市からバスや自家用車で約千名が塩竈ガス体育館へ避難する計画となっておりますが、本市において複合災害発生などによりインフラに大きな被害が発生し、本市での受け入れが困難となる場合は、県が他自治体や県外自治体と調整し避難場所を確保することとなります。</p>

<p>・女川原発について</p> <p>季節により、風の方向が当市の上空を通過することも考えられます。その場合の対応は。</p>	<p>原子力災害が発生した場合、国は緊急事態宣言を発し、放射線量などの情報を本市へ提供することとなります。</p> <p>この提供される情報等により放射線等が本市の上空通過が想定される場合は、防災行政無線や広報車、SNSなど様々な手段により市民等に対し放射線量や屋内に留まる等、正確な情報提供を実施してまいります。</p>
<p>・宇宙からの隕石による災害について</p> <p>数年前ロシアのシベリア地区に隕石が降り注いだこと、記憶にあるかと思えます。</p> <p>衝撃波により、ガラス等に相当の被害が発生したと記憶に新しいことと思えます。</p>	<p>宇宙からの隕石による災害については、国の防災基本計画や県の地域防災計画においても想定されていないことから、被害規模や発生確率等、大変想定が難しい問題もございますが、市内で隕石による災害が発生した場合等、想定外の災害についても本市地域防災計画を準用し、国、県と連携を図りながら対応してまいります。</p>
<p>・災害弱者といわれる方々へのヘルプ</p> <p>季節・時間帯等により困難な場合もあり、障害者・高齢者に対応が非常に困難かと思われます。</p>	<p>本市地域防災計画には、障がい者や高齢者の方など避難の支援を要する方に対しては、避難行動要支援者へ登録いただくよう推進しております。さらに、要支援者の方と相談し、あらかじめ支援者や避難先などを決めておく個別避難計画の作成を行っております。今後も、町内会や民生委員の方々など避難に対し支援いただける方等との連携を図り、個別避難計画の策定を推進してまいります。</p>
<p>・災害弱者といわれる方々へのヘルプ</p> <p>外国人の観光滞在者への対応</p>	<p>本市地域防災計画では、外国人は要配慮者として対応することとしており、「要配慮者及び観光客等への配慮」を規定し</p>

	<p>ております。</p> <p>外国人の観光滞在者への対応についてですが、観光案内板や観光パンフレットには、英語での表記を行うなど、指定避難所への案内を行っております。</p> <p>また、指定避難所には多言語指差しシートを用意しておりますので、シートを使用し意思疎通を図ってまいります。</p>
<p>・災害弱者といわれる方々へのヘルプ 外国人技能実習生への対応</p>	<p>外国人実習生の対応についてですが、受け入れ先の企業と連携しながら災害対策や避難先の確認など実施いたします。</p> <p>また、総合防災訓練への参加を呼びかけてまいります。</p>
<p>・災害弱者といわれる方々へのヘルプ 聾啞者への対応</p>	<p>本市地域防災計画には、避難の支援を要する方に対しては、避難行動要支援者へ登録いただくよう推進しております。さらに、要支援者の方と相談し、あらかじめ支援者や避難先などを決めておく個別避難計画の作成を行っております。今後も、町内会や民生委員の方々など避難に対し支援いただける方等との連携を図り、個別避難計画の策定を推進してまいります。</p>
<p>・避難所への対応 災害が発生した場合の受け入れ態勢→避難所に入れる人員が限られますので？ 避難所での受付方法、QRコードにより簡便にして検索も簡単に (高齢者等によりスマホ持参していない方については、アナログ(紙に記入)による受付)</p>	<p>本市地域防災計画では、災害時に指定避難所の開設状況や混雑状況等を周知することも想定し、ホームページやアプリケーション等の多様な手段の整備に努めることとしております。</p> <p>ご提案いただきましたとおり、現在、様々なシステムが開発されており、避難所受付の簡便化にQRコードを使用したも</p>

	<p>のもございます。本市といたしましても、どのようなシステムがよいのか先進事例等を含め検討を進めてまいります。</p>
<p>・避難所への対応 設備を設置する為の予算処置 (例) 体育館の屋根に太陽光発電による電気の確保等</p>	<p>避難所へ設備を設置するための予算措置でございますが、これまでマンホールトイレや耐震性貯水槽の整備など行ってまいりました。</p> <p>本市地域防災計画では、防災拠点機能の確保・充実に努めることとしており、今後も、停電対策強化等、有効な設備について、計画的に整備してまいります。</p>